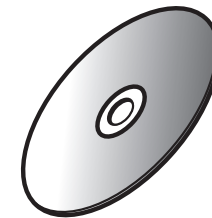
ＣＤ－ＲＷ／ＤＶＤ－ＲＯＭドライブ
ユーザーズマニュアル（PDFファイル）

ATAPI で接続する方へ　内蔵ドライブ

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください（こちらをクリックすると表示されます）。

最新の情報は、弊社ホームページ（buffalo.jp）を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

次のページへ→

取り付けと Windows の設定

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください（こちらをクリックすると表示されます）。

最新の情報は、弊社ホームページ(buffalo.jp)を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

次のページへ→

取り付けとWindowsの設定

セットアップのながれ

パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにする

▼

本製品をパソコンに取り付ける

▼

周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにする
プラグアンドプレイにより、自動的に本製品が認識されます。

▼

Windowsの設定（DMA転送）を確認する

▼

付属のユーティリティCDで付属のソフトウェアをインストールする
別紙「はじめにお読みください」参照

注意・メモ

注意

・別紙「はじめにお読みください」と併せてお読みください。

・本製品を取り付ける前に、ハードディスクなどの大切なデータは他のメディアにバックアップ（保存）してください。

・パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や設定は、各マニュアルを参照してください。

・パソコンへの取り付け/取り外しは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

メモ

本製品を取り付けるには以下のものが必要です。 作業を行う前にご用意ください。

・本製品および付属品

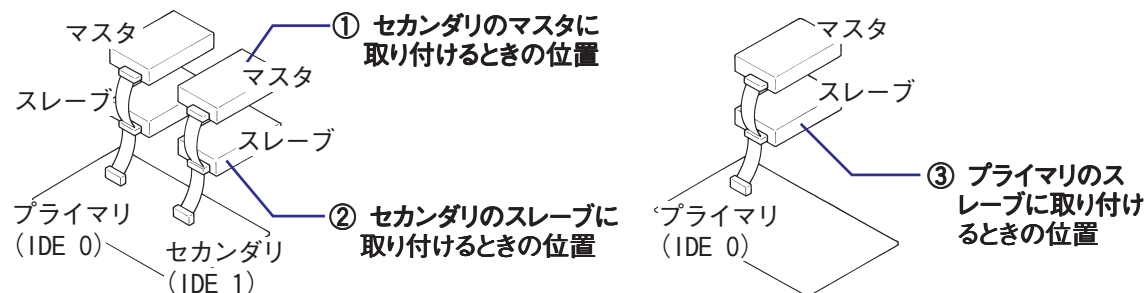
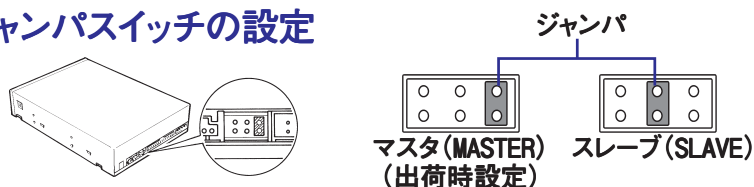
・パソコンおよび周辺機器のマニュアル

・ドライバなどの工具

←前のページへ 次のページへ→

取り付けの前に

●取り付ける位置

通常、プライマリのマスタにはハードディスクが接続されています。
そのため、本製品は下図①～③のいずれかの位置に取り付けます。

●ジャンパスイッチの設定

使用環境		プライマリ（IDE 0）		セカンダリ（IDE 1）		本製品のジャンパスイッチ設定
他のIDE機器	本製品	マスタ	スレーブ	マスタ	スレーブ	
1台	1台	■	本製品	―	―	スレーブ（SLAVE）
		■	―	本製品	―	マスタ（MASTER）
2台	1台	■	本製品	■	―	スレーブ（SLAVE）
		■	■	本製品	―	マスタ（MASTER）
		■	―	■	本製品	スレーブ（SLAVE）
3台	1台	■	■	■	本製品	スレーブ（SLAVE）

■：他のIDE機器が接続されている
―：IDE機器が接続されていない

注意・メモ

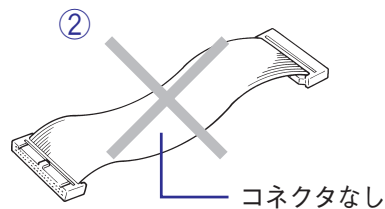
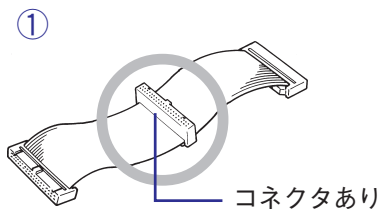
注意

セカンダリに本製品1台だけを接続するときは、必ずマスタに設定してください（出荷時はマスタに設定されています）。

メモ

- 通常、プライマリのマスタにはハードディスクを接続します。本製品1台だけを接続して使用することはできません。
- 本製品はハードディスクが接続されていないフラットケーブルに接続することをおすすめします。本製品とハードディスクを同じフラットケーブルに接続すると、パソコンの動作が不安定になることがあります。

←前のページへ 次のページへ→

●ケーブルについて
本製品をスレーブとして接続する場合は、下図の①のような形状のフラットケーブルが必要です。
パソコン本体付属のフラットケーブルが②のような形状の場合や、パソコン本体にフラットケーブルが付属していない場合は、弊社製IDE接続ケーブルを使用してください。

●CyberTrio-NXがインストールされているPC98-NXシリーズでは、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、Windowsの設定が変更できないことがあります。パソコン本体のマニュアルを参照して必ずアドバンストモードに変更してください。

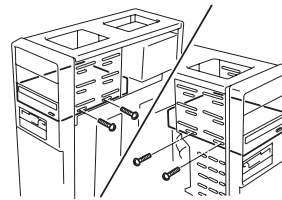
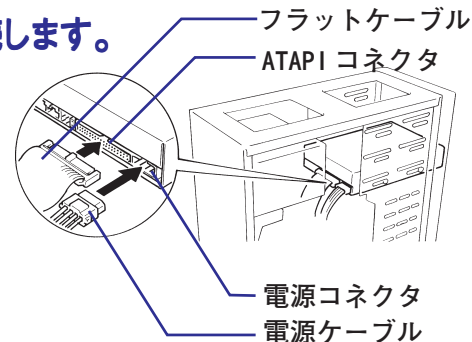
注意・メモ

←前のページへ
次のページへ→

取り付け方法

1 パソコン→周辺機器の順で電源スイッチをすべてOFFにし、ケーブル類を取り外します。さらに、パソコンのカバー（ネジ止め）を外します。

2 本製品の取り付け条件に合わせて、ジャンパスイッチを設定します。

3 本製品をファイルベイに挿入し、付属の取り付けネジ（4本）で固定します。

4 フラットケーブルと電源ケーブルを接続します。

5 パソコンのトップカバー（ネジ止め）を取り付け、パソコンおよび周辺機器を元どおり接続します。

注意・メモ

注意

パソコンによって取り付け方法が異なります。 必ずパソコンメーカの定める取り付け方法に従ってください。

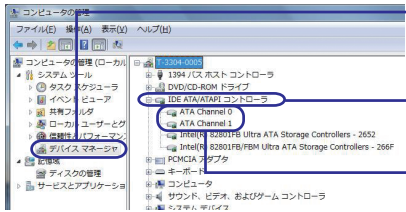
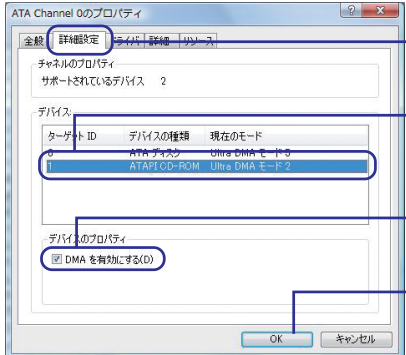
メモ

パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが付属していないときは、別売の弊社製IDE 接続ケーブルをお使いください。

注意

ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。
【「取り付けとWindowsの設定-②」参照】

注意

ケーブルのはさみ込みやコネクタの抜けなどがないように注意してください。

←前のページへ 次のページへ→

Windows Vistaの設定

本製品をパソコンに取り付けてパソコンを起動した後に、DMA転送を行うように設定します。DMA転送は下記に記載の手順で設定できます。

1 [スタート]をクリック→[コンピュータ]を右クリック→[管理]をクリックします。

2 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックします。

3

① [デバイスマネージャ]をクリックします。

② [IDE ATA/ATAPI コントローラ]をダブルクリックします。

③ 本製品を接続したチャネル(ATA Channel 0またはATA Channel 1)をダブルクリックします。

4

① [詳細設定]タブをクリックします。

② 本製品(ATAPI CD-ROM)をクリックします。

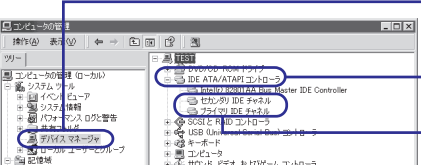
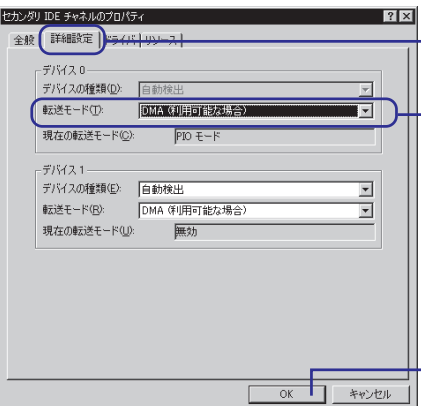
③ [DMAを有効にする]にチェックマーク(✓)を付けます。

④ [OK]をクリックします。

5 表示されるメッセージに従って再起動します。

注意・メモ

注意

パソコンの機種によっては、DMA転送に非対応で、メディアのデータが正しく読み出せないことがあります。その場合は、[DMAを有効にする]のチェックマークを外してください。

WindowsXP/2000 の設定

本製品をパソコンに取り付けてパソコンを起動した後に、DMA転送を行うように設定します。DMA転送は下記に記載の手順で設定できます。

1 [マイ コンピュータ]アイコンにマウスのカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします(WindowsXPでは[マイコンピュータ]はスタートメニューの中にあります)。

2 メニューが表示されたら[管理(G)]をクリックします。

3

①[デバイスマネージャ]をクリックします。

②[IDE ATA/ATAPI コントローラ]をダブルクリックします。

③本製品を接続しているチャネル(セカンダリまたはプライマリ)をダブルクリックします。

4

①[詳細設定]タブをクリックします。

②[転送モード(T)]の▼をクリックし、[DMA(利用可能な場合)]を選択します。初期設定では[PIOモード]に設定されています。

③[OK]をクリックします。

5 メッセージに従ってシステムを再起動します。

注意・メモ

メモ

画面はWindows2000の例です。

注意

- 本製品をマスタとして接続しているときは、[デバイス0]の設定を変更してください。スレーブとして接続しているときは、[デバイス1]の設定を変更してください。
- パソコンの機種によっては、DMA転送に非対応で、メディアのデータが正しく読み出せないことがあります。その場合は、上記の[転送モード(T)]を[PIOモード]に設定してください。

←前のページへ
次のページへ→

WindowsMe/98SE/98 の設定

本製品をパソコンに取り付けてパソコンを起動した後に、DMA転送を行うように設定します。DMA転送は下記に記載の手順で設定できます。

1 [マイコンピュータ]アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。

2 表示されたメニューから[プロパティ(R)]をクリックします。

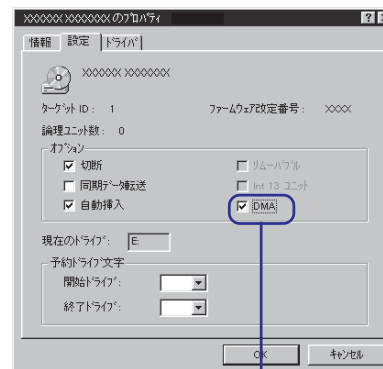
3 [システムのプロパティ]ダイアログボックスが表示されたら、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

4 [CD-ROM]をダブルクリックします。

5 本製品(CD-RW/DVD-ROMドライブ)のデバイス名をダブルクリックします。

6 [設定]タブをクリックします。

7 [□ DMA]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックします。

8 [システムのプロパティ]の[OK]をクリックし、メッセージに従ってシステムを再起動します。

チェックマークをつけます。

注意・メモ

メモ

PC98-NX シリーズをお使いのときは、次の操作をする前にCyberTrio-NXをアドバンストモードに変更してください。

注意

- パソコンの機種によってはDMA転送に対応していないものもあります。パソコンのマニュアルを参照してください。
- DMA転送に対応していない機種では、DMA転送に設定を変更すると、メディアの読み込みが正常にできない、Windowsが正常に起動しないなどの現象が起こることがあります。お使いの環境がDMA転送に対応しているかどうかはパソコンメーカーにご確認ください。このようなときはDMAのチェックボックスのチェックマークを外してください。
- お使いのパソコンによっては、[□ DMA]のチェックボックスがない、またはグレー表示になっていて設定できないことがあります。

←前のページへ 次のページへ→

ソフトウェアのインストール

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください（こちらをクリックすると表示されます）。

最新の情報は、弊社ホームページ（buffalo.jp）を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

ソフトウェアのインストール

☆ライティングソフトウェアのインストール

CD-R/RWメディアに書き込みをするためには、ライティングソフトウェアをインストールする必要があります。

●必要なシステム環境
CD-R/RWメディアに書き込みするためには、次の環境が必要です。

CPU	PentiumIII以上またはその互換以上
メモリ	128MB以上
データ転送方式	DMA転送推奨
グラフィック	解像度800×600ドット以上、True Color(24ビット)色以上
ハードディスク容量	145MB以上 ※CD作成のための作業領域に必要な容量は、上記に含まれません。

注意・メモ

注意

お使いのOSが要求するパソコン環境も満たす必要があります。

←前のページへ 次のページへ→

●インストール手順

1 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

2 [B's Recorder GOLD BASICのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

以降は、画面の表示に従ってインストールしてください。

注意・メモ

注意

Windows Vistaをお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。その場合は、[続行]をクリックしてください。

メモ

・「簡単セットアップ」が起動します。起動しないときは、ユーティリティCD内のアイコン(BUFFALOINST.EXE)をダブルクリックしてください。

☆プレーヤソフトウェアのインストール

DVD-VideoやVideo CDを再生するためには、本製品付属の「WinDVD」をインストールする必要があります。

●必要なシステム環境
WinDVDを使用するには次の環境が必要です。

CPU	Celeron400MHz以上(PentiumIII700MHz以上推奨)
メモリ	64MB以上(128MB以上推奨:WindowsXP/2000は128MB必須)
グラフィックボード	DirectX8.1およびハードウェアオーバーレイに対応したボード(AGP)
ハードディスク容量	20MB以上の空き容量
サウンドボード	48KHzステレオ再生オーディオシステムに対応したボード

DMA転送が有効に設定されていない場合、十分な転送速度が得られないため、DVD-Video再生時にコマ落ち、音飛びが発生することがあります。

注意・メモ

注意
WinDVDは必ずインストールしてください。本製品にセットしたメディアから動画を再生するにはWinDVDを使用してください。

メモ
インストールの前に、本製品をパソコンに取り付けておいてください。

注意
Permedia2を搭載するグラフィックボードには非対応です。

注意
お使いのOSが要求するパソコン環境も満たす必要があります。

←前のページへ 次のページへ→

●インストール手順

1 付属のユーティリティCDをCD-ROMドライブにセットします。

2 [WinDVDのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。

以降は、画面の表示に従ってインストールしてください。

[ユーザ情報]画面では、名前(ユーザー名)・所属(会社名)・シリアル番号を入力しないと、セットアップを続行できません。シリアル番号は、マニュアル「はじめにお読みください」に記載されている文字を入力ください。

注意・メモ

注意

Windows Vistaをお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。その場合は、[続行]をクリックしてください。

メモ

・「簡単セットアップ」が起動します。起動しないときは、ユーティリティCD内の アイコン(BUFFALOINST.EXE)をダブルクリックしてください。

・バージョン9未満のDirect Xがインストールされている環境では、Direct X9が自動的にインストールされます。インストール後に画面のメッセージに従ってパソコンを再起動してください。

←前のページへ 次のページへ→

ＣＤ書き込み

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください（こちらをクリックすると表示されます）。

最新の情報は、弊社ホームページ（buffalo.jp）を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

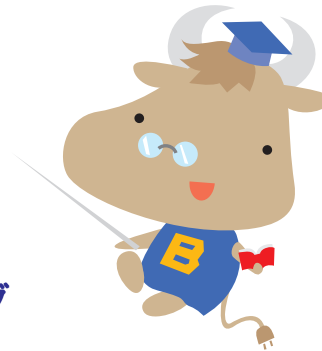
←前のページへ 次のページへ→

ＣＤ書き込み

☆書き込み

メディアにデータを書き込むときは、付属のライティングソフトウェアを使用します。
使いかたについては、B's Recorder GOLD BASIC(以降、B's Recorder GOLDと記載します)の電子マニュアルをお読みください。

ライティングソフトウェアのインストール方法は、「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

注意・メモ

メモ

B' s Recorder GOLDの電子マニュアルはインストール後に、[スタート]-[(すべての)プログラム]-[B.H.A]-[B' s Recorder GOLD BASIC]- [DOC] -[ユーザーズマニュアル]をクリックすると表示されます。

メモ

一度書き込んだCD-R/RWメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

☆書き込み方式

メディアの使用目的に応じて書き込み方式を選択してください。ライティングソフトによって対応している書き込み方式は異なります。【ライティングソフトウェアのヘルプ参照】

●ディスクアットワンス方式
- リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
- 1枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

●トラックアットワンス方式
- ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記ができる。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

●セッションアットワンス方式
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

注意・メモ

メモ

- 2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください。
- 1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。

←前のページへ 次のページへ→

CD-RW の制限事項

●CD-RWでは、データの書き換えが複数回可能です。書き換え可能回数はCD-RWメディアによって異なります。古い使用済みのメディアで書き込みができなくなったときは、新しいCD-RWメディアをお使いください。

●データを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

●CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。

CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。

●CD-RWメディアに8倍速以上の速度で書き込みをする場合、HighSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。

●CD-RWメディアに16倍速以上の速度で書き込みをする場合、UltraSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。

注意・メモ

メモ

使用している CD-ROM ドライブが CD-RW に対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたは CD-ROM ドライブのメーカにお問い合わせください。

←前のページへ 次のページへ→

ＤＶＤ再生

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください（こちらをクリックすると表示されます）。

最新の情報は、弊社ホームページ（buffalo.jp）を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

←前のページへ　次のページへ→

ＤＶＤ再生

DVD-VideoやVideo CDを再生するには、本製品付属の「WinDVD」をお使いください。

WinDVDの起動

[スタート]－[(すべての)プログラム]－[InterVideo WinDVD(またはインストール時に指定したフォルダ名)]－[InterVideo WinDVD]と選択します。

WinDVDの使いかた

WinDVDの使いかたはWinDVDのヘルプを参照してください。

注意・メモ

注意

音楽CDを聴きたいときは、デジタル再生に対応したプレーヤーソフトウェア(WinDVD、Microsoft Media Player7以降など)をお使いください。デジタル再生の設定、使いかたはソフトウェアのヘルプを参照してください。

メモ

ヘルプはプレーヤー画面を右クリックし、表示されたメニューから[ヘルプ...]を選択すると表示されます。

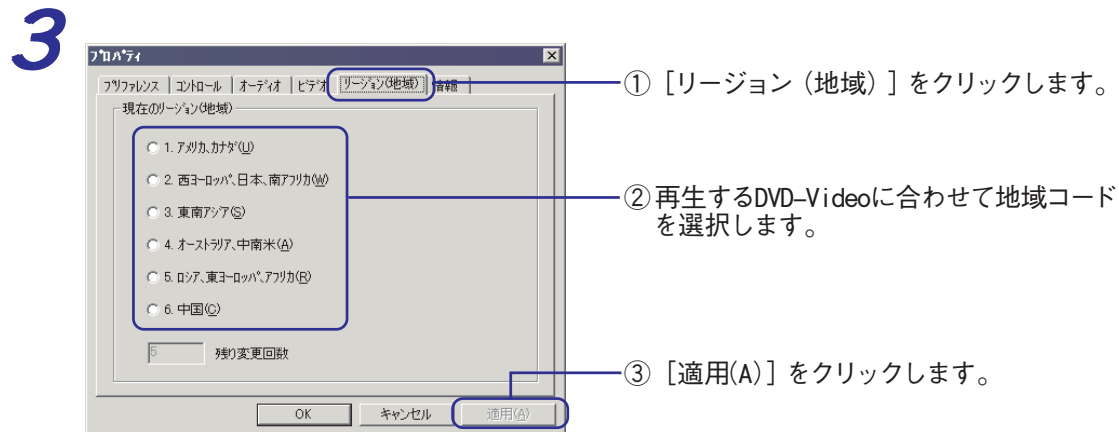
←前のページへ 次のページへ→

地域（リージョン）コードの設定

次の手順で、再生するDVD-Videoの地域（リージョン）コードに合わせて設定してください。

1 WinDVDを起動します。

2 プレイヤー画面を右クリックし、メニューから［プロパティ（セットアップ）］を選択します。

3

以上で地域（リージョン）コードの設定は完了です。

注意・メモ

注意

・地域（リージョン）コードは、DVD-Videoを再生できる地域を限定するためのものです。本製品の地域コードとDVD-Videoの地域コードが合わないと再生できません。

・出荷時に地域（リージョン）コードが設定されていないときは、必ず地域コードを設定してください。

メモ

・日本国内向けに製造されたDVD-Videoを再生するときは、［2.西ヨーロッパ、日本、南アフリカ(W)］を選択します。

・最初に設定した地域（リージョン）コードは、左記の手順で変更できます。

・表示される画面は、お使いのOSによって異なります．

注意

変更できる回数は4回までです。5回以上は変更できません。

←前のページへ 次のページへ→

取り扱いかた

 メディアの取り扱いに関する注意

 メディアのセット／取り出し

メモ

困ったときは、「トラブルシューティング」をお読みください（こちらをクリックすると表示されます）。

最新の情報は、弊社ホームページ（buffalo.jp）を参照ください。ホームページには最新のQ&Aや仕様が案内されています。

取り扱いかた

メディアの取り扱いに関する注意

メディアのわずかな傷や汚れの付着によっても正常に読み出し(書き込み)できなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

- ●直射日光に長時間さらさないでください。
- ●メディアに傷を付けないでください。
- ●記録面に手を触れないでください。
- ●記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。
- ●シールやラベルなどを貼らないでください。
- ●メディア同士を重ねないでください。
- ●レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。

注意・メモ

←前のページへ 次のページへ→

●本製品にセットしたメディアの音声を聴くには、Windows Media Player 7以降などデジタル再生に対応したプレーヤーで再生してください。

< Windows Media Player 7の設定手順 >
①Windows Media Player 7を起動します。
②メニューから[ツール(T)]ー[オプション(O)]を選択します。
③ [CDオーディオ]タブをクリックします。
④ [再生の設定]項目中の[デジタル再生(K)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑤ [OK]をクリックします。

< Windows Media Player 8以降の設定手順 >
①Windows Media Player を起動します。
②メニューから[ツール(同期)]ー[オプション(その他のオプション)]を選択します。
③ [デバイス]タブをクリックします。
④本製品のドライブ文字(例 E:)が表示されているドライブを選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。
⑤ [再生]項目中の[デジタル(D)]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
⑥ [OK]をクリックします。設定画面を閉じてください。

注意・メモ

メモ

・WindowsMeにはWindows Media Player 7が標準で付属しています。また、Microsoft社のホームページから無償ダウンロードできます。

・Windows Media Playerの操作方法については、ヘルプを参照してください。

注意

パソコンによっては、デジタル再生に対応していないことがあります。その場合は、パソコンに標準で搭載されているCD-ROMドライブなどで再生してください。

←前のページへ 次のページへ→

メディアのセット／取り出し

●メディアをセットする
イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアをセットします。
トレーは軽く押すと戻ります。

●メディアを取り出す
イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアを取り出します。
トレーを軽く押してトレーを戻します。

注意・メモ

注意

・本製品を縦置き（垂直）にして取りつけた場合は、トレーのツメにメディアをかけてセットしてください。
・縦置き（垂直）にした場合、8cmサイズのCDは使用できません。

注意

アクセス中は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。システムが停止するおそれがあります。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの 安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記載されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップ作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
■本書では、Microsoft社 Windows Millennium EditionをWindowsMeと表記しています。
■本書では、Microsoft社 Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。

CD-RW/DVD-ROMドライブユーザーズマニュアル
2007年1月11日 第3版発行
発行　株式会社バッファロー
PY00-28141-DM10-03 3-01 C10-012

←前のページへ